

第19回地域福祉セミナー

「ともに生き、支えあうまち」

～誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、

自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる～

日 時 : 令和3年11月2日(火) 13:30～16:00

会 場 : 仙台市福祉プラザ2階 ふれあいホール

主 催 : 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会、仙台市

共 催 : 仙台市地域包括支援センター連絡協議会

後 援 : 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、特定非営利活動法人仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、特定非営利活動法人せんだい・みやぎ NPO センター、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、一般社団法人宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所

目 次

基調説明

- 「住民と行政の協働による地域福祉の推進について」 3
仙台市健康福祉局地域福祉部 社会課長 西山 祥子 氏

実践報告

- 「相談コーナー設置により福祉ニーズを収集する取り組み」 19
連坊地区社会福祉協議会 会長 廣島 和夫 氏
- 「地域について話し合う福祉事業所の連携づくり」 25
北仙台地区ふくし事業所連絡会ふわっと 斗米 一志 氏
- 「ICT を活用した認知症・介護カフェの取り組み」 29
国見ヶ丘地域包括支援センター 所長 阿部 和也 氏
- 「若い世代が地域活動に参加する取り組み」 37
心の110番“友の会”代表 岩下 順郎 氏

-
- 開催要綱 46

プログラム

テーマ 「ともに生き、支えあうまち」

～誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、

自分らしく安心して暮らせる地域をみんなでつくる～

1. 開 会 【13:30～】

2. 基調説明 【13:40～】

「住民と行政の協働による地域福祉の推進について」

～地域福祉活動計画と支えあいのまち推進プラン～

説明者 仙台市健康福祉局地域福祉部 社会課長 西山 祥子 氏

3. 実践報告 【14:00～】

「“気づく”、“共有する”、“行動する”、“参加を推進する”～4つの活動実践～」

報告者

活動目標1 “身近な福祉課題に気づく力を高める”

「相談コーナー設置により福祉ニーズを収集する取り組み」

連坊地区社会福祉協議会 会長 廣島 和夫 氏

活動目標2 “地域の課題や良さを共有する場づくりを進める”

「地域について話し合う福祉事業所の連携づくり」

北仙台地区ふくし事業所連絡会ふわっと 斗米 一志 氏

活動目標3 “解決のために行動する”

「ICTを活用した認知症・介護カフェの取り組み」

国見ヶ丘地域包括支援センター 所長 阿部 和也 氏

活動目標4 “一人ひとりの住民の参加を推進する”

「若い世代が地域活動に参加する取り組み」

心の110番“友の会”代表 岩下 順郎 氏

進行役 学校法人東北学院 常任理事 阿部 重樹 氏

4. 閉 会

<ご来場の皆様へのお願い>

- ・ホール内は飲食禁止です。ご飲食はホワイエでお願いします。また、ごみの持ち帰りにご協力ください。
- ・喫煙は1階庭園東側、指定の場所で行ってください。
- ・災害時は係員が誘導いたしますので、指示に従っていただきますようお願いいたします。
- ・携帯電話は、電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただきますようお願いいたします。
- ・来場の皆様による会場内の写真撮影はご遠慮ください。特に登壇者の発表スライド等、個人情報が含まれる場合がございます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・本会では会場内の撮影を行っております。撮影したものに付きましては、本会広報等に使用する場合がございますことを予めご了承ください。
- ・会場内外で発生した事故・盗難等につきましては、主催者・会場・出演者は一切の責任を負いません。自己の責任の上管理いただきますようお願いいたします。特に不特定多数の方が入場いたします会場内での貴重品等の管理には、十分ご注意くださいようお願いいたします。



支えあう地域社会を築くために



令和3年11月2日 仙台市 社会課

1

本日まで説明する内容

1. 統計データからみる仙台市の現状
2. 「せんだい支えあいのまち推進プラン」について

2

1. 統計データ等からみる本市の現状

●人口の将来見通し

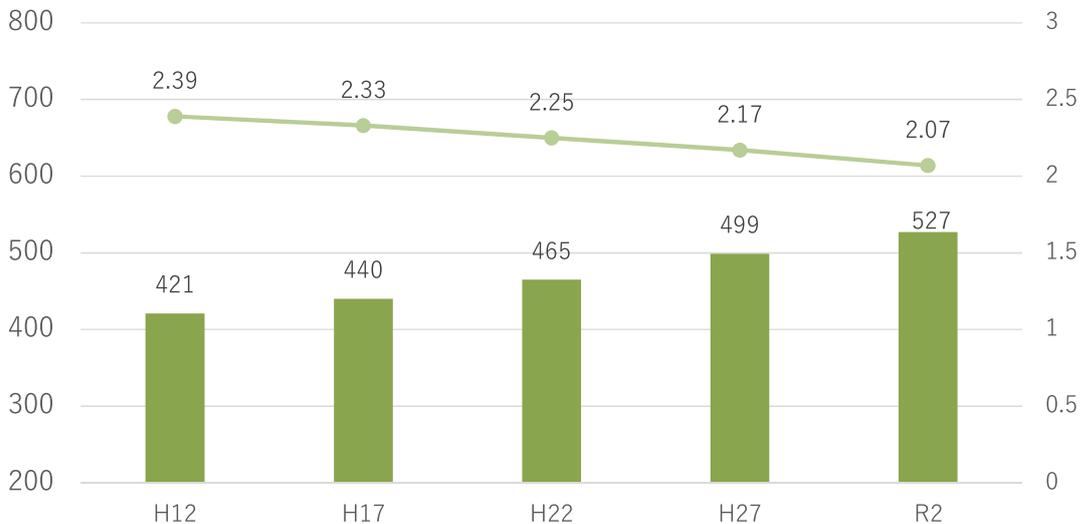
仙台市の人口推移と見込み（1950～2070年）



【資料】2015 (H27) までは国勢調査結果、2020 (R2) は10月1日時点の推計人口、2025 (R7) 以降は仙台市まちづくり政策局資料

1. 統計データからみる本市の現状

●世帯数及び平均世帯人員数



【資料】国勢調査（ただし R2は10月1日現在の推計値）

1. 統計データからみる本市の現状

●人口構成の推移



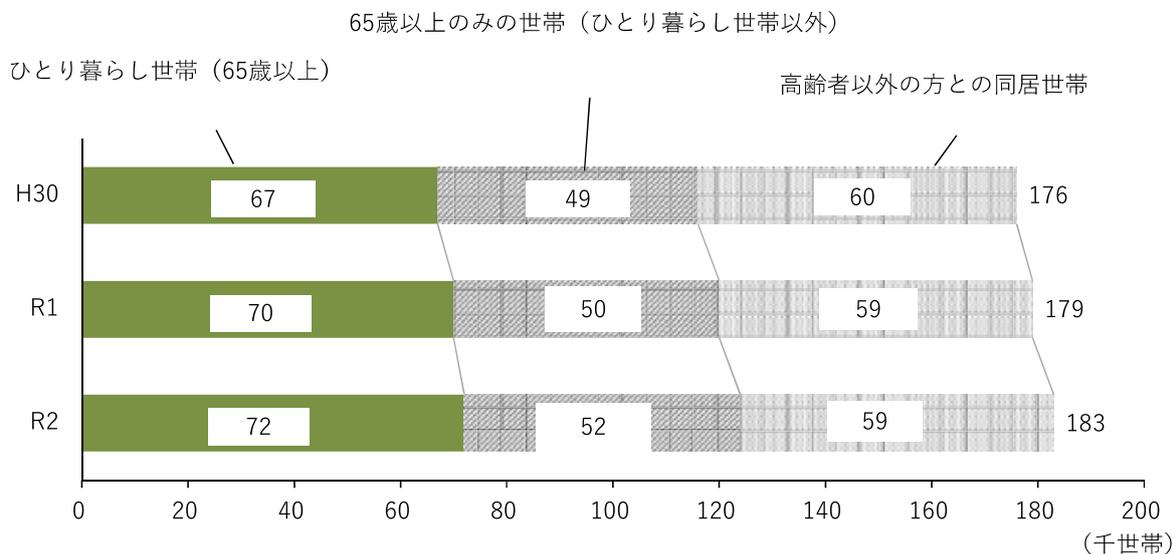
出典 国勢調査結果 (総務省統計局)
注 年齢不詳を除く

※仙台市ホームページ「第1回仙台市総合計画審議会」資料より引用

5

1. 統計データからみる本市の現状

●在宅高齢者の世帯状況

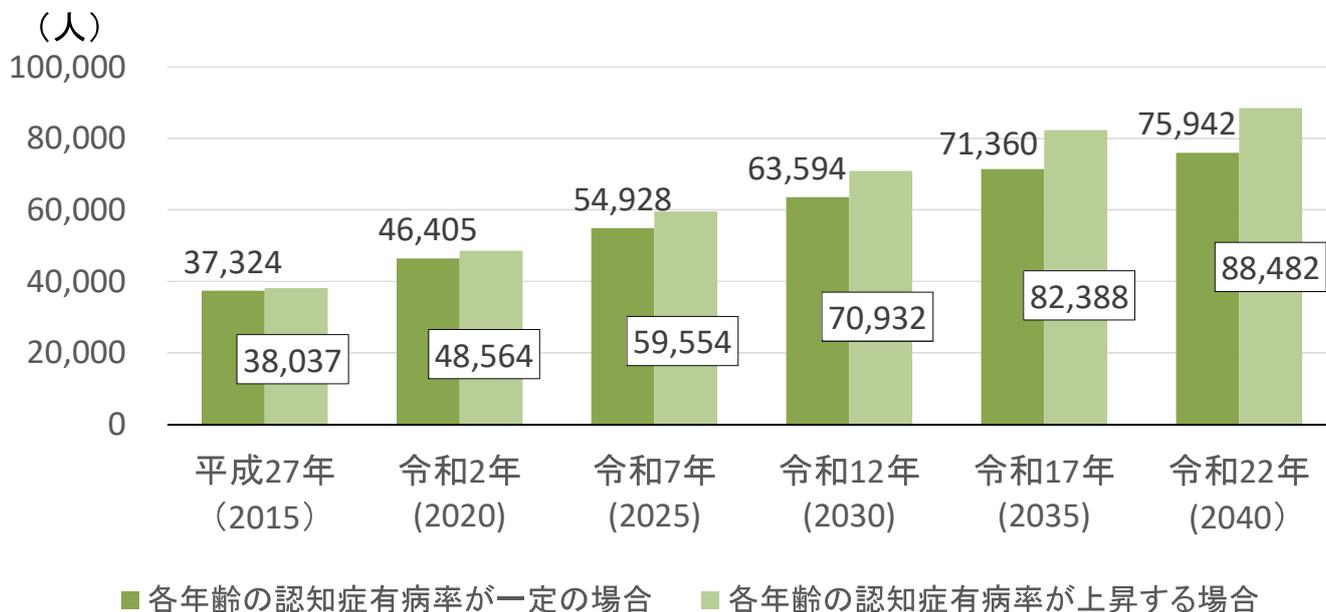


【資料】仙台市健康福祉局 (住民基本台帳 (各年10月1日) データにより作成)

6

1. 統計データからみる本市の現状

●認知症高齢者の推計

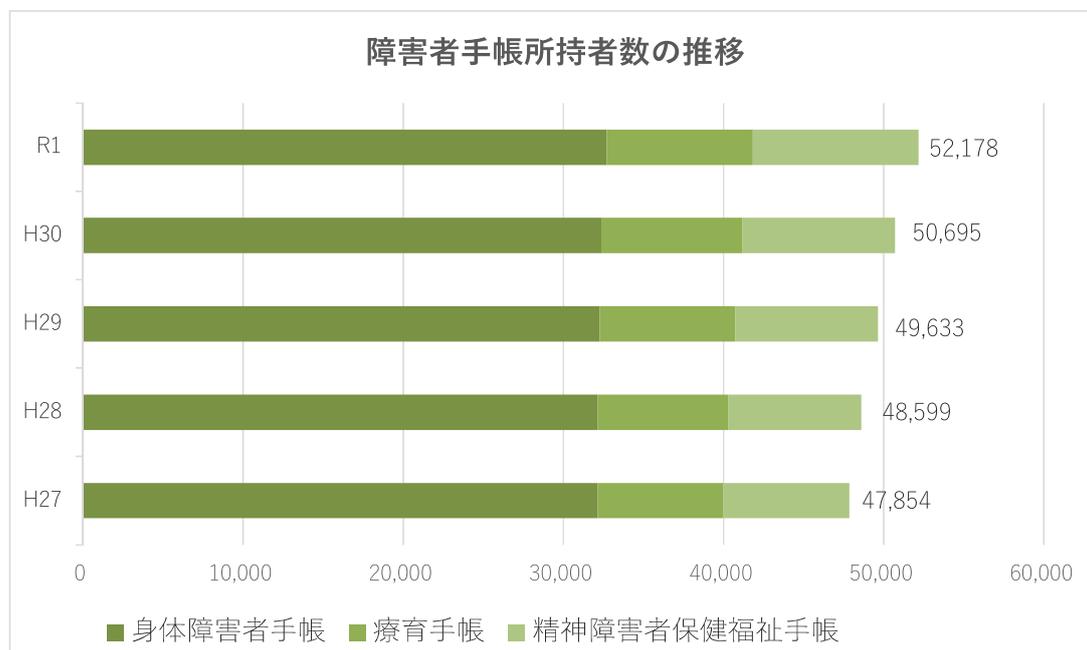


出典：仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（健康福祉局）

7

1. 統計データからみる本市の現状

●障害者手帳保持者数の推移



【資料】仙台市健康福祉局（各年度末現在）

8

1. 統計データからみる本市の現状

●子ども(年少人口)の割合



出典：【上】国勢調査結果（総務省統計局）、仙台市将来人口推計（まちづくり政策局）、【下】国勢調査結果（総務省統計局）
 注：0～14歳人口。各年10月1日。【上】H32-37値は推計値。

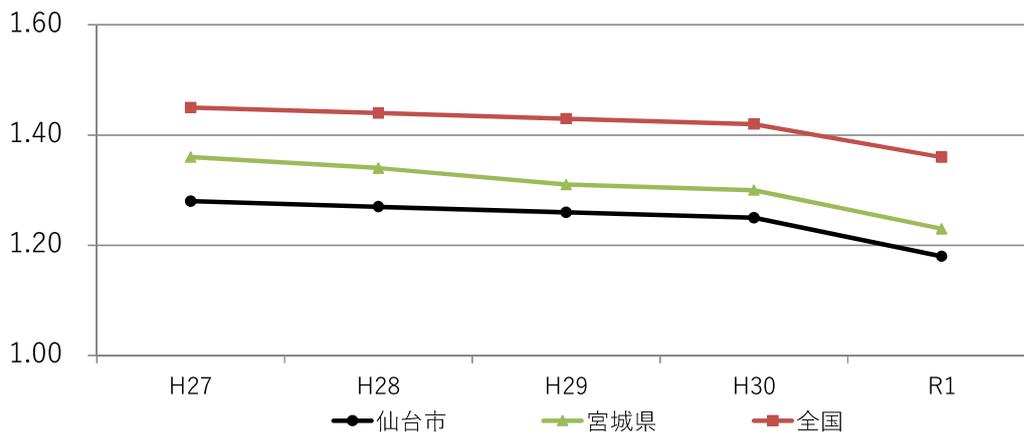
※仙台市ホームページ「第1回仙台市総合計画審議会」資料より引用

9

1. 統計データからみる本市の現状

●仙台市の合計特殊出生率の推移

	H27	H28	H29	H30	R1
仙台市	1.28	1.27	1.26	1.25	1.18
宮城県	1.36	1.34	1.31	1.30	1.23
全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36

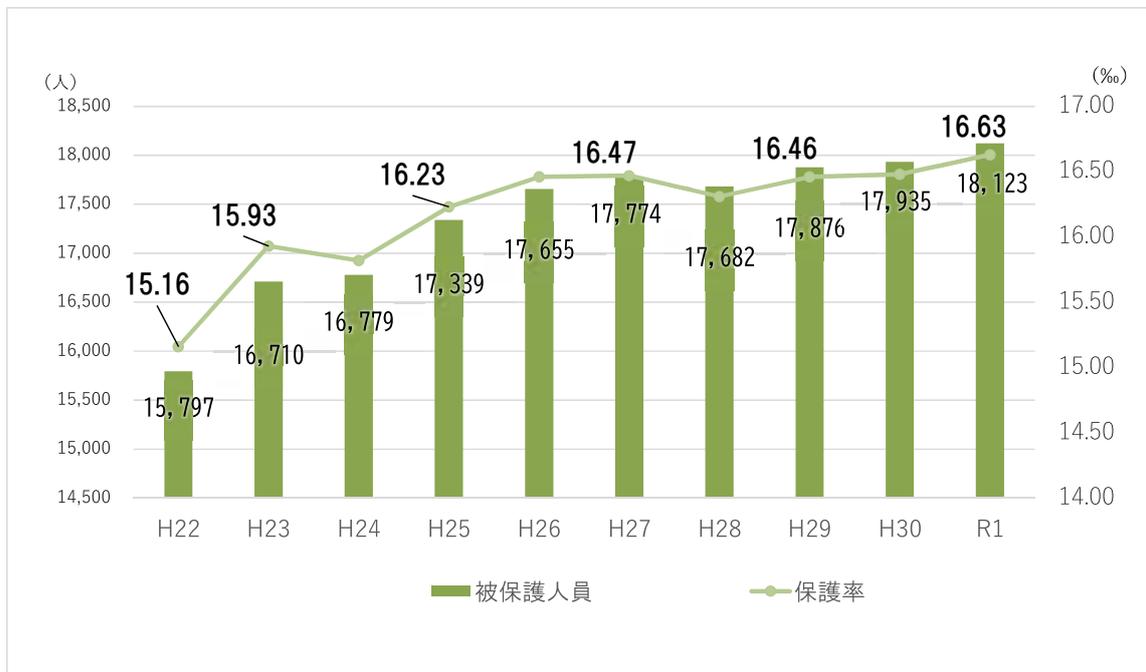


【資料】厚生労働省「人口動態統計」及び仙台市健康福祉局（各年）

10

1. 統計データからみる本市の現状

●生活保護受給者及び保護率の推移



11

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて



基本理念

ともに生き、支えあうまち

基本目標

誰もが尊重しあい、
孤立することなく、自分らしく安心して
暮らせる地域をみんなで作る

計画期間

令和3年度～令和8年度

12

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

市町村地域福祉計画

【根拠法】社会福祉法第107条

市町村成年後見制度 利用促進基本計画

【根拠法】成年後見制度の利用の
促進に関する法律第14条

地方再犯防止推進計画

【根拠法】再犯の防止等の推進に
関する法律第8条



せんだい支えあいのまち
推進プラン

13

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

●これまでの地域福祉計画について

基本理念 1期～3期共通

誰もがそれぞれの地域で、自立し、安心して、
自分らしい充実した生活を送ることができるまち

第1期計画 ～地域の「福祉力」の向上をめざして～

【計画期間】平成17年度～平成22年度

第2期計画 ～復興を支える市民の絆と力を、地域の福祉力へ～

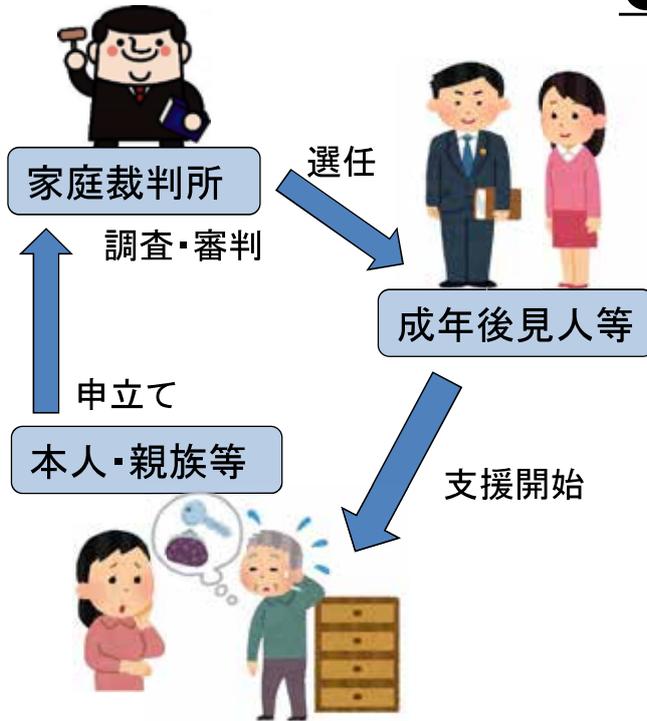
【計画期間】平成24年度～平成27年度

第3期計画 ～未来を育む地域の「福祉力」の充実をめざして～

【計画期間】平成28年度～令和2年度

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

●成年後見制度利用促進



障害の有無や
それぞれの置かれた環境によらず、
身体や財産が安全に守られ、
自分の暮らし方について、
自分で考え、
自分で選び、
自分らしい生活を続けられる
地域をつくっていく

15

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

●再犯防止推進

刑務所出所者などの
立ち直りへの壁

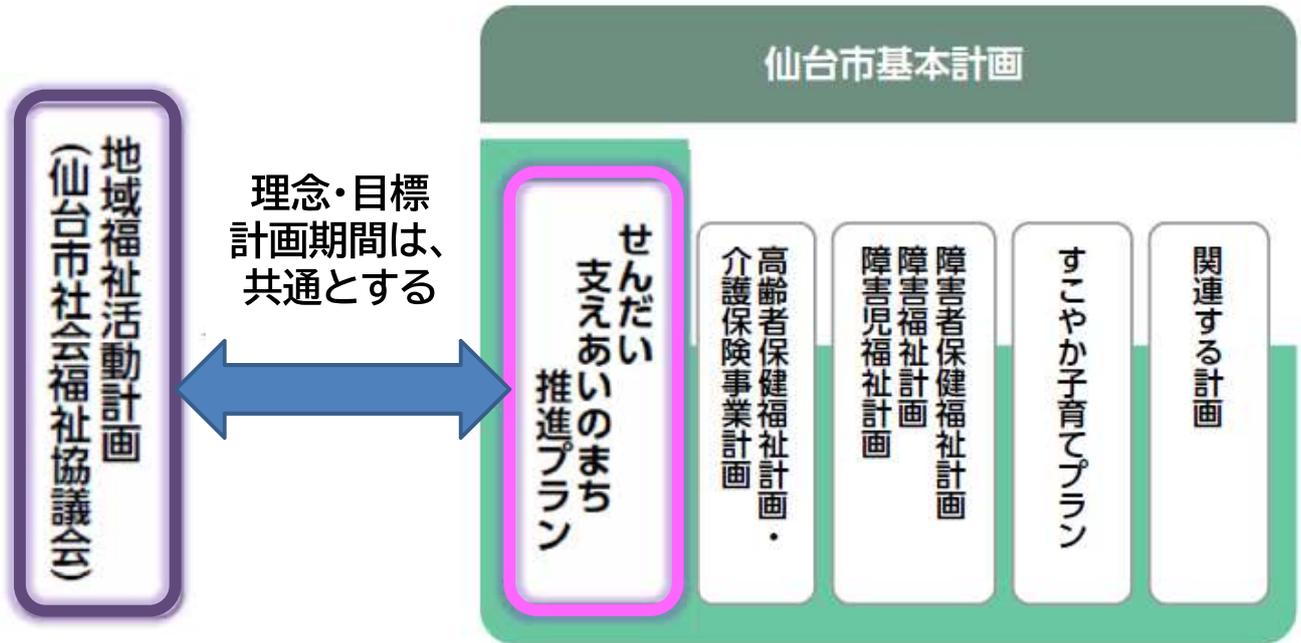
(法務省リーフレットを参考に作成)

孤独 相談相手がいない	<ul style="list-style-type: none"> 新たな生活環境の中で、立ち直りに必要な指導や助言が十分に受けられず、生活が再び乱れてしまう。
薬物依存等がある	<ul style="list-style-type: none"> 適切な治療や相談支援を受けることができず、薬物依存症等からの回復ができない。
高齢である 障害がある	<ul style="list-style-type: none"> 必要な福祉的支援が得られず、生活が立ち行かなくなる。 ※高齢者や障害を有する者の場合、出所してから再犯までの期間が短いことが明らかとなっています。
住むところがない 仕事がない	<ul style="list-style-type: none"> 身元保証人を得られず、適当な住居を確保できない。 ※出所後に帰住先のない者は短期間で再犯に及ぶことが明らかとなっています。 前科があることや知識・技能等の不足により、就職や就労の継続ができない。 ※無職者は有職者に比して再犯率が約3倍です。

16

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

●市社協「地域福祉活動計画」との関係



17

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

●SDGs(エスディーゼズ)との関係



地域共生社会実現に向けた仙台市の計画は、SDGsの内容も踏まえて策定

18

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて



19

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

基本理念

ともに生き、支えあうまち

基本目標

誰もが尊重しあい、
孤立することなく、自分らしく安心して
暮らせる地域をみんなで作る

20

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

● 基本的方向について

基本的方向1

多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進

基本的方向2

地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

基本的方向3

多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

21

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

基本的方向1

多様性を認めあい、社会とつながる環境づくりの推進

考え方の
キーワード

- ・多様性を理解し、お互いを認めあう社会
- ・地域や社会とつながり直せる、安心できる居場所、環境
- ・誰もが必要な情報を得られ、誰もが利用しやすい都市環境

施策の方向

- 1 共生の意識を高める取り組みの推進
- 2 ニーズに合った多様な居場所づくり
- 3 就労や住まいの確保の支援の推進
- 4 誰もが暮らしやすい生活環境の整備

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

基本的方向2

地域の課題に気づき、解決を図る地域力の強化

考え方の キーワード

- ・地域の課題について、住民自身が気づき、解決を図る
- ・だれもが主体的に地域社会と関わりを持つ
- ・分野超えた連携・協働による地域づくり

施策の方向

- 1 地域福祉活動への参加と人材育成の促進
- 2 地域のさまざまな主体による活動の充実・強化
- 3 多様な主体のつながりによる地域づくりの推進
- 4 災害に備える地域づくり

23

2. せんだい支えあいのまち推進プランについて

基本的方向3

多機関の協働による、相談を受けとめ寄り添い続ける支援の推進

考え方の キーワード

- ・複雑化、複合化した支援ニーズに、柔軟かつ継続的に対応
- ・本人を中心とした、地域住民と専門職の両方による支援
- ・多機関連携による支援機能全体の強化

施策の方向

- 1 日頃の見守り活動の促進
- 2 身近な相談機能の充実
- 3 複合的な課題にチームで対応するための仕組みづくり
- 4 多様化するニーズに対応する福祉サービスの充実

24

実践報告

「“気づく” “共有する” “行動する” “参加を推進する”
～4つの活動実践～」

報告者

活動目標1 “身近な福祉課題に気づく力を高める”

「相談コーナー設置により福祉ニーズを収集する取り組み」

連坊地区社会福祉協議会 会長 廣島 和夫 氏

活動目標2 “地域の課題や良さを共有する場づくりを進める”

「地域について話し合う福祉事業所の連携づくり」

北仙台地区ふくし事業所連絡会ふわっと 斗米 一志 氏

活動目標3 “解決のために行動する”

「ICTを活用した認知症・介護カフェの取り組み」

国見ヶ丘地域包括支援センター 所長 阿部 和也 氏

活動目標4 “一人ひとりの住民の参加を推進する”

「若い世代が地域活動に参加する取り組み」

心の110番“友の会”代表 岩下 順郎 氏

進行役

学校法人東北学院 常任理事 阿部 重樹 氏

地区あんしん相談コーナー」設置

「仙台市社会福祉協議会第5次地域福祉活動計画
(せんだい a i (あい) プラン)」
活動目標 1 : 「身近な福祉課題に気づく力を高める」
3 身近な相談機能の強化

第19回地域福祉セミナー 資料
(R2/3年度仙台市社協CSW協働推進地区支援事業)

連坊地区社協 R3.11.2



連坊地区社協の概要

1. 人口 : 12,145 人 世帯数 : 7,138
世帯 高齢化率 19.13 %
 2. 世帯当たり員数 : 1.7人 社協会員
2040世帯 (未加入5,098世帯)
- **気にかかる点 : 加入者の割合が少ない
単身者世帯が多い



地区全体のデータからも 地区全体の問題は提示できそう

しかし、困っているのは個人や家族で
個人やその世帯の問題。

その問題を把握し対応支援することが重要 →→

連坊地区社会福祉協議会（連坊地区社協）の活動

見守り & 生活支援

生活支援活動支援
（柴田町町内会）
支援世帯 6世帯
在宅福祉助成
（民生委員訪問依頼）
高齢者家庭 381世帯 訪問



広報・地域団体
との
連携活動など

連坊地区 社会福祉協議会

社協れんぼう 年間2会発行
HP：
<https://hiroshima0902.wixsite.com/mysite-2/home>
連坊地区福祉担当者会議
（参加団体13,情報交換/課題
検討）

一人暮らし
高齢者食事会
各町内会等で開
催するサロンの
発表会も兼ね

サロン開催と各町内会 活動支援（助成事業）

連坊虹の会、育児サロン
連坊ミュージット、
連坊元気カフェ
（2 専門学校支援）
認知症カフェ(包括支援センター共催)
各町内会等で開催する
サロン 18 団体
老人クラブ4団体



福祉の人材育成など

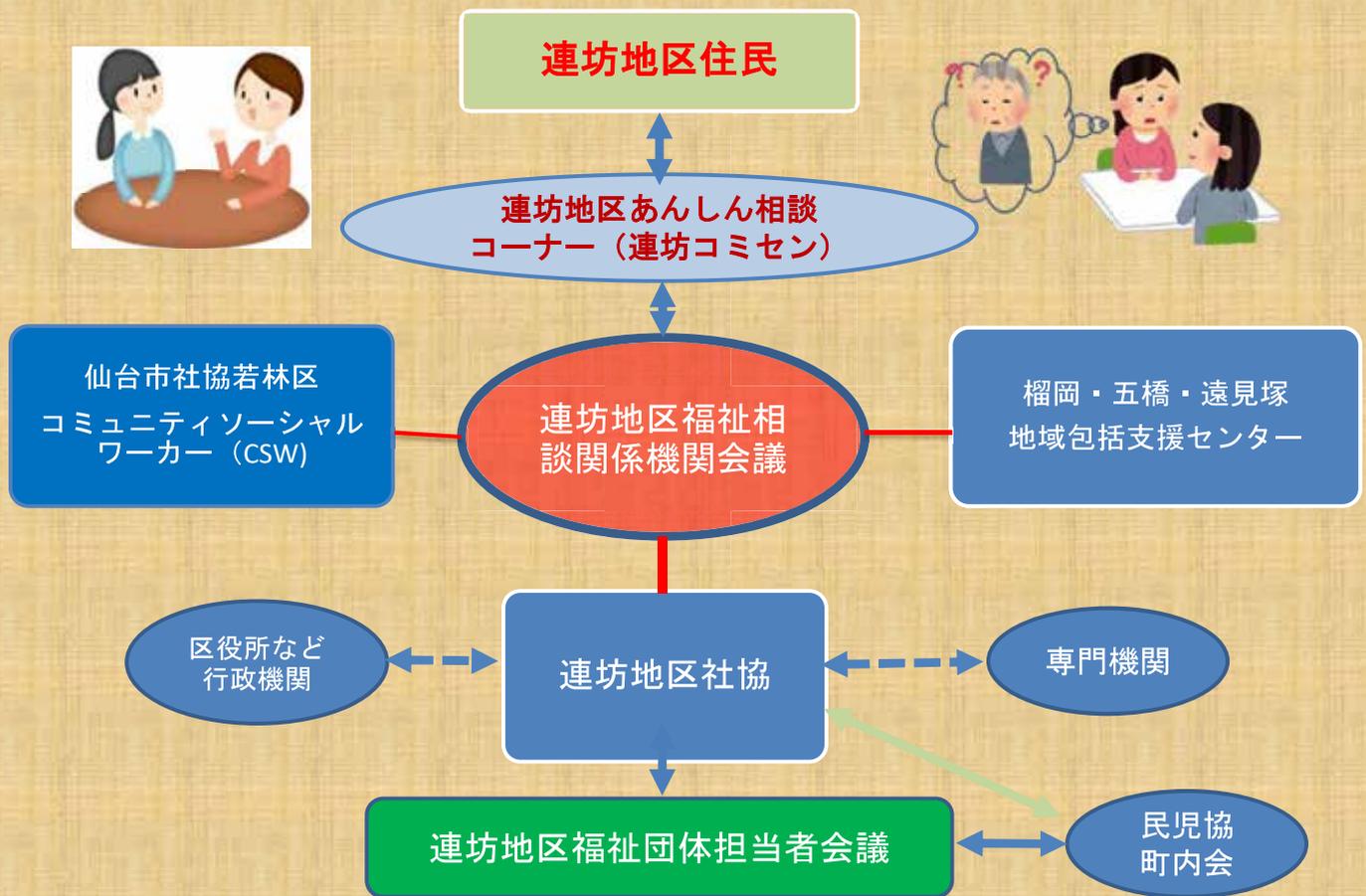


- ・連坊地区福祉担当者研修会
- ・仙台市社協の研修会参加
- ・福祉教育助成（連坊小路小学校）
- ・調査活動

あんしん相談コーナー設置について

- ・ 連坊地区社協の課題
 1. 福祉員が殆ど居ない&地区福祉懇談会など開催してない
（地区社協として住民課題を聴く機会がない）
 - 2 常設の社協活動の場がなく、住民の悩みやニーズ把握できない
 - ・ 会員外の見えない住民からの意見を聞けない
 - ・ 関係機関の連携が不足で、地区内の新しい課題が見えない
- ・ →→相談コーナー設置のキッカケ
 - ・ 令和元年度の「連坊秋祭り」で
榴岡包括支援センターと共同で相談コーナー設置、その評価から
 - ・ CSWとの協働推進事業実施が
 - ・ 豊中市の活動に種々学んだこと

あんしん相談コーナーの運営体制



運営体制・開催日などについて

• あんしん相談コーナー窓口運営の体制

- 当面の間（コロナ感染が落ち着くまで）、区社協CSW、当番の包括支援センター担当者、連坊地区社協担当1～2名が対応する。
- また、原則、連坊地区社協事務局会開催日として、午後14時から15時半まで連坊コミセン和室とする。

• 周知や相談イベントなど

- 地区住民、担当各団体へのチラシ、関係者などからPR、セミナー・サロン、展示・説明会（福祉機器、福祉サービス、HPなど）でも。



介護保険サービスってどうやって使うの？

最近引っ越してきて地域のことがわからない。

ボランティアをしたい！

見守りをしているが、最近元気がないみたい…

認知症かしら…

誰かに話を聞いてほしい。

今後の生活費が心配…

子育てのことで聞きたい

地域のサロンに参加してみたい。



ちょっとしたお悩み
ご相談ください。



- ◆相談できる日：2月3日（水） 14時～15時30分
- 2月10日（水） 14時～15時30分
- 3月10日（水） 14時～15時30分
- 3月26日（金） 14時～15時30分
- ◆場所：連坊コミュニティセンター(連坊一丁目7-15)
※連坊小路小学校の隣の建物です。
- ◆相談無料。予約不要。相談者の秘密は守ります。



地域包括支援センター
(榴岡・五橋・遠見塚)

保健師、社会福祉士、
主任介護支援専門員等
☎022-297-5906
榴岡地域包括支援センター・塩田

連坊地区社会福祉協議会

主に高齢者の見守り活動
や、身近な地域で交流する
サロン活動など、住民
同士の助け合い・支え合
い活動をすすめます。

仙台市社会福祉協議会
若林区事務所

コミュニティソーシャル
ワーカー (CSW)
☎022-282-7971
佐々木・杉山・庄子

私たちが一緒に考えます。

若林区事務所佐々木CSW作成

連坊地区の安心相談コーナーの展開について

- 1 連坊地区住民身近な問題に柔軟に対応する
- 2 個人情報には十二分に配慮する
- 3 相談結果は、記録を保管し、類似の相談に活用できるように配慮する。
- 4 連坊地区住民に広く知られ、誰もが気軽に活用できるように常に配慮する。

• 5 運営の状況

相談件数：令和2年度開催回数6回（12～3月）26件

相談者： 住民、民生委員、町内会長

相談の内容：見守り（一人暮らし高齢者、ひきこもり、障害者）、子育て、アルコール依存症 など

運営の課題

- 運営体制の強化
 - 地区社協の意識向上
 - 地区民への分かり易い説明
 - ITC（情報通信技術）の活用体制整備
 - 人材育成
 - 事務局があるコミセンのインターネット環境整備
- 地区住民の細かなニーズへの対応

地域について話し合う福祉事業所の連携づくり

北仙台地区ふくし
事業所連絡会
ふわっと



北仙台地区ふくし事業所連絡会 ふわっと

1

ふわっと事業所 M A P



北仙台地区ふくし事業所連絡会 ふわっと

2

北仙台地区ふくし事業所連絡会「ふわっと」 事業所一覧（五十音順）

<p>こ〜びなごみの杜桜ヶ丘</p> <p>ショートステイとサービス付き高齢者向け住宅の併用施設です。地域の皆様のお声を大事にして、安心してご利用頂ける施設を目指しています。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区水の森3-40-20 TEL：022-779-7031 担当：遠藤、渡辺、田村</p> 	<p>仙台市社会福祉協議会青葉区事務所</p> <p>ボランティアや地域での福祉活動に関するご相談、暮らしの困りごとのご相談をお受けします。お気軽にお問い合わせください。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区二日町4-3 二日町分庁舎1階 TEL：022-263-5260 FAX：022-263-5262 担当：川村、石野</p> 	<p>はまゆう</p> <p>障がいのある人もない人も共により良く暮らせる社会の実現を目指し、一人ひとりが生きる喜びを感じられるよう支援していきます。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区東藤山1-26-6 TEL：022-727-2345 FAX：022-272-1013 担当：佐藤智美</p> 	<p>杜の家ふたば／ふたばの杜</p> <p>住み慣れた家での生活を続けることができるように、「通い」を中心に「宿泊」「訪問」の3つのサービスを組み合わせ提供する在宅介護サービスです。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区双葉ヶ丘1-42-6 TEL：344-8591 FAX：344-8582 担当：平澤 文</p> 
<p>せんだんの館</p> <p>一人ひとりが尊重され、個性が輝く共生の地域を目指して、子どもから高齢者まで過ごしやすい環境づくりのお手伝いをしています。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区水の森3-43-10 TEL：022-303-0371 FAX：022-277-0732 担当：斗米、前沢、小渡</p> 	<p>なのはなホーム</p> <p>発達に心配のある0〜6歳までのお子さんが親子で通っています。遊びや生活を通してコミュニケーションや発達を促す保育をしています。</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区北根4-10-1 TEL：022-275-3878 FAX：022-275-3885 担当：新井</p> 	<p>實樹苑／双葉ヶ丘地域包括支援センター</p> <p>【實樹苑】特別養護老人ホームのほか、ショートステイやデイサービスも併設しています。お気軽にお声がけください！！ 【包 括】地域の高齢者の総合相談窓口です！</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区双葉ヶ丘2-9-2 TEL：275-3786／275-3881 FAX：245-4786（共通） 担当：鈴木、清水、阿久澤</p> 	<p>ワンファミリー仙台</p> <p>高齢や障がい、生活困窮と様々な背景を抱えた方々とともに、毎週の清掃活動など、地域との関係性を重視して活動しています！</p> <p>【問合せ先】 住所：青葉区二日町4-26 907 たいへんく二日町102 TEL：022-398-9854 FAX：022-398-9856 担当：今井、五十嵐、茅野</p> 

北仙台地区ふくし事業所連絡会 ふわっと

3

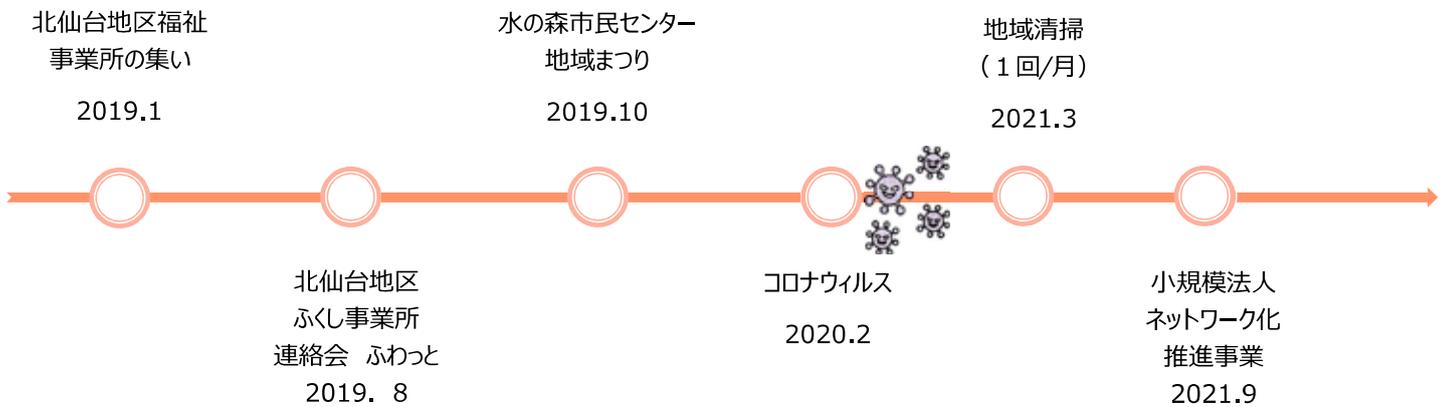
きっかけ

近くの福祉事業所で集まれば、
地域課題に対してできることが増えるかも。

北仙台地区ふくし事業所連絡会 ふわっと

4

これまでの活動



活動内容

事業所間の連携

・各事業所による活動や捉えている地域課題を共有する

情報収集

・地域であった出来事や困り事をキャッチする

知ってもらう

- ・ゴミ拾い
- ・ピブス、チラシ作成
- ・市民センター地域まつり
- ・小学校での授業

モノのシェア

- ・マスク
- ・雑巾
- ・花粉用メガネ
- ・歯ブラシ



北仙台地区ふくし事業所連絡会 ふわっと

これからの活動計画

地域とつながる

- 地域に「ふわっと」を知ってもらう
- つながりを継続するための見守り支援体制の構築
- 地域の社会資源 M A P の作成
- 相談窓口機能の拡充

福祉教育・育成

- 小学校の総合教育（社会見学）などの受け入れ
- 地域の元気な高齢者の社会参加の促進

団体内の連携強化

- 団体内コミュニケーションツールの検討
- 各事業所事業の協働化の推進

共有する場作りで大切にしたいこと



目的を共有する

活動の目的を共有
我が事として能動的に関わる
目的達成のための行動の軸づくり



対等に関わり合う

参加者同士の対等な人間関係
信頼関係による建設的な意見交換



仲間のための行動

仲間のことを考えた行動
お互いの目的のために協力
多様な情報交換

テレビ電話でモヤッとカフェ

ビデオ通話で集まる、認知症・介護カフェを

国見ヶ丘地域包括支援センター 阿部 和也

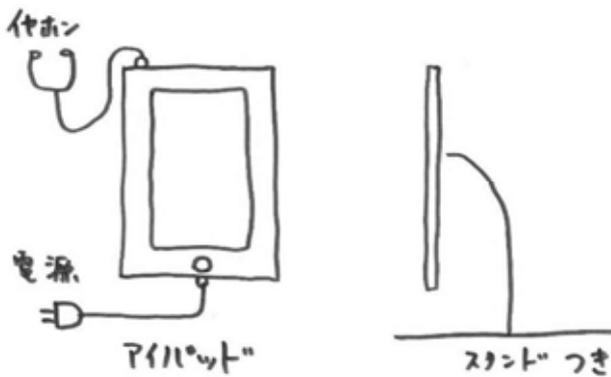
認知症カフェがなくなって、困る人は

- 以前は地区社協・ボラネット・せんだんの杜・包括共催の「午後の音楽カフェ」で、もの忘れの話を聞いたり、おしゃべりしたりする場がありました。
- カフェは施設内で100人規模。コロナ禍で中止したまま。
- カフェがあったらいいのに、という人にむけて、テレビ電話でカフェをやることに。(ZOOMを使用しました。)
- 「認知症かなあ、と思うけど、病院ほどじゃない」「家族が認知症で、どうしたらいいかしら」「介護で家を空けられない。外に出られず誰とも話せない」ような人に参加してほしい。
- そんな人に響く「モヤッと」というコトバから命名「モヤッとカフェ」

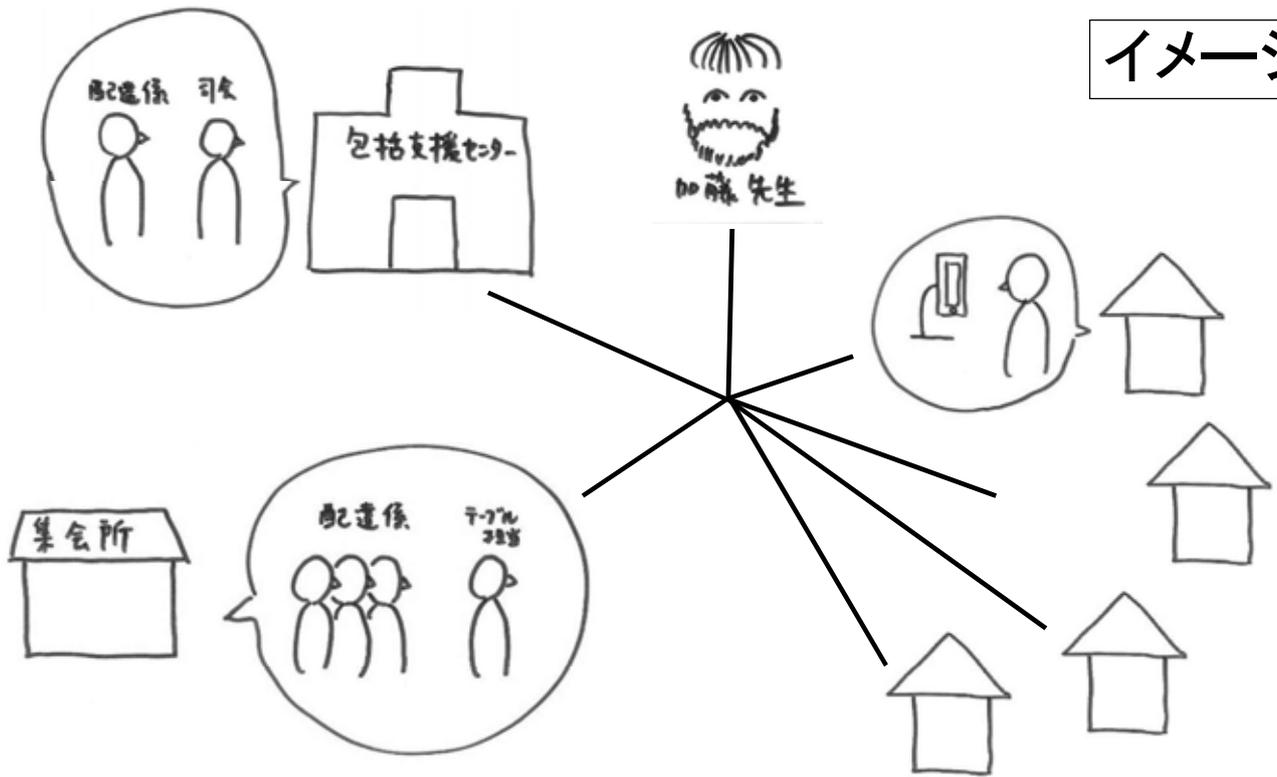
スタッフ

- 配達チーム 地域から3人
包括から1人
- テーブル担当(グループでのフリートークの進行役) 地域から2人
市社協から1人
- 司会 包括1人
- トラブル担当 包括2人
- 講師 認知症介護研究・研修仙台センター 加藤先生

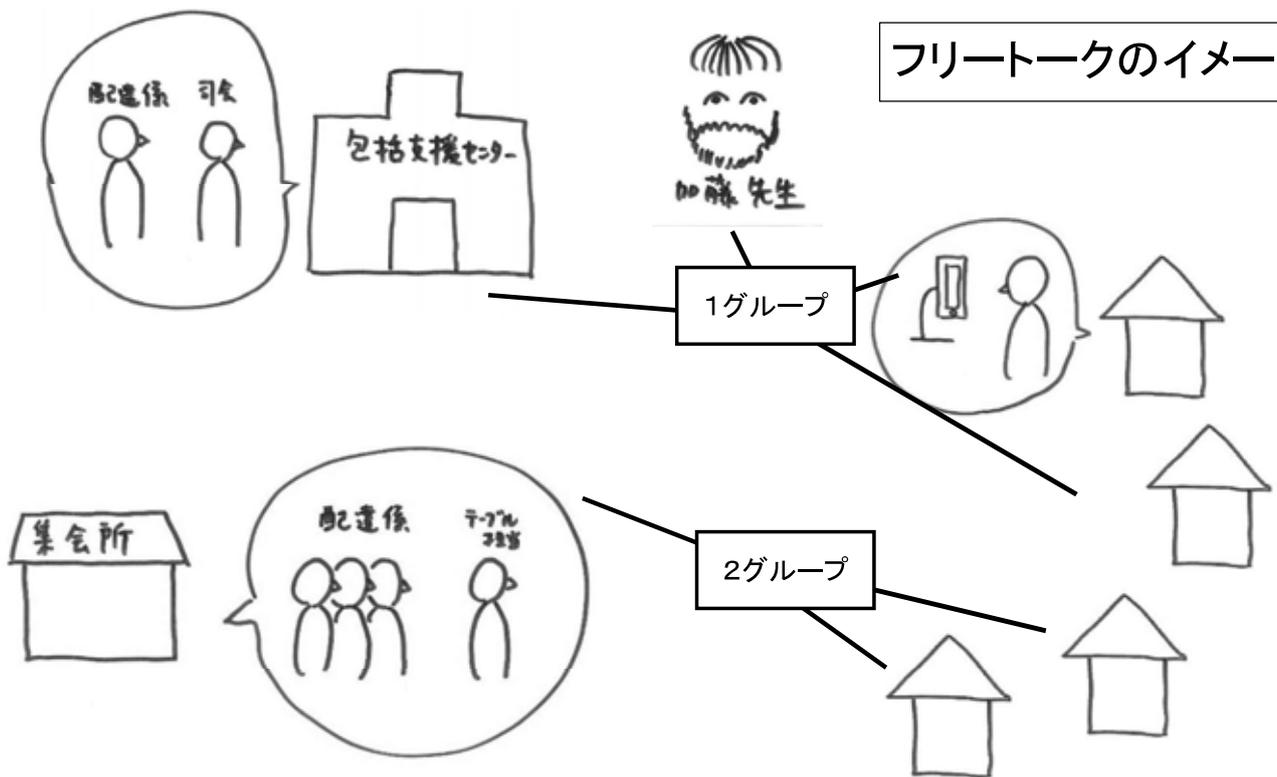
貸し出し用アイパッド



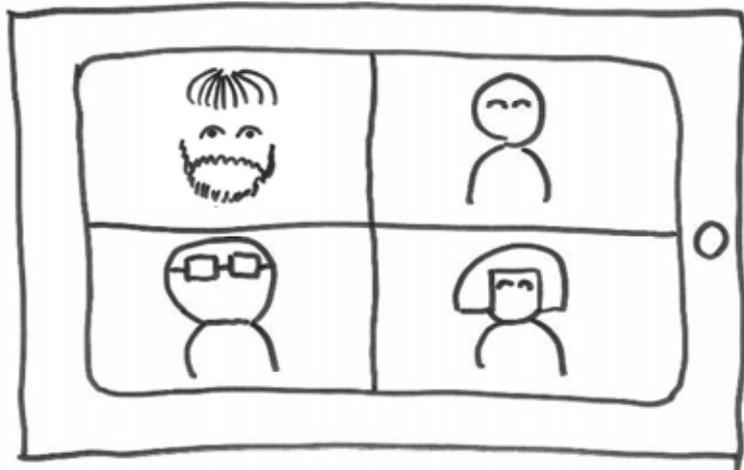
イメージ



フリートークのイメージ



見え方 10人参加



グループ



全員

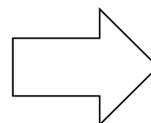
そこまでしなくても、集まればいいでしょ

- 会場まで行けない人・集まりが苦手な人・コロナが心配な人
- 誘っても断られていた人・介護で家を空けられない人
- テレビ電話で参加できました。
- 【感想より】 歩くのが段々遅くて疲れるので助かった。コロナ禍なので、良かった。表情が見えてのお話しはとても良かった。1人暮らしなので、話す機会がないので、どもらないで話せて良かった。1人はいつもさみしいので、辛い。同じ悩みが話せて良かった。聞けて良かった。

機械は分からない、私には無理

- 3ステップでテレビ電話に参加できます。
- 職員が、操作の説明・接続の練習まで(社協スタッフ・参加者を)サポートします。参加者のスマホにアプリ設定なども。
- 【感想より】内容もそうだが、リモートを体験した事がためになった。私は良かったが、画面の操作に戸惑われていた方もいた。

アイパッドの電源 オン



• 右上の赤いシールを

- ぎゅーっと長押しする
- 5秒くらいかかります

• リンゴがでたら手をはなす

テレビ電話に参加 方法2



4

失敗談

- ・見たことない画面。どうしたらいい？なのに包括に電話が通じない！
- ・一人画面からいなくなってしまった。どうする？と相談の声がだだもれ
- ・テーブル担当の声が聞こえない！
- ・司会のパソコンが固まった！

• テレビ電話で体操教室

- 自分で操作して参加できるようにになりました。
- 週1回体操の自主グループが活動中です。

主催：国見ヶ丘地域包括支援センター
 協力：吉成学区連合町内会・吉成学区社会福祉協議会

自宅のテレビで
みんな一緒に

テレビ電話で体操教室

コロナの時代、外出がへり、「疲れやすい」「転びそうになる」ことはないですか？その先は転倒骨折ねたきりかも？

おしゃべりもできず、「むせる」「声がよく出ない」「滑舌が悪い」などが積み重なると、要介護リスクや死亡リスクが2倍になるといいます。

そこで、自宅のテレビで仲間と一緒にできる体操教室はいかがですか？テレビ電話で先生とやりとりします。「スマホやネットとは縁がない」方も大歓迎！気軽にご参加ください。

日 時：令和2年10月 8日(木)、15日(木)
 22日(木)、29日(木)
 11月 5日(木)、12日(木)
 10:00~11:30 全6回コース
 場 所：それぞれの自宅
 内 容：イスに座っての体操・お口の体操・講話他
 講 師：せんだんの丘ぶらす・せんだんの館
 参 加 料：無料
 対 象 者：概ね65歳以上の方
 募集人数：10名を予定しています。

必要な機材を無料で貸し出し。操作のお手伝いもします。

申し込み、問い合わせ

・国見ヶ丘地域包括支援センター
 TEL 303-3805



• テレビ電話で作って食べる栄養教室

テレビ電話で！！

主催：国見ヶ丘地域包括支援センター

作って食べる栄養教室

「1人で食事をすることが多い」「栄養バランスって何に気をつけるの?」などと食事に関する悩みや疑問は様々なと思います。

管理栄養士さんと一緒に「簡単おかず」を作ってみんなで一緒に食べながらお話してみませんか？

コロナ禍ではありますが、テレビ電話を使って自宅で安全に参加することができます。気軽にご参加ください！

日時：令和3年6月25日(金) 15:30~17:00
 内容：「簡単おかず」を作って食べながら栄養についてお話をきく
 場所：それぞれの自宅
 講師：せんだんの館 管理栄養士 佐藤純子さん
 費用：材料費(実費)
 対象者：おおむね65歳以上の方
 募集人数：6人程度を予定

機材は無料で貸し出し！接続のお手伝いもします！

(申し込み・問い合わせ)
国見ヶ丘地域包括支援センター
 TEL: 303-3805

機器がない。金もない。

- 課題です。
- 助成金をもらって、中古品を買いました。通信料はかかります。
- スマホ「持ってるけど、使えないのよ」という人から広めています。
- 格安スマホに乗り換えて、データ増量、料金が安く。

- 自分が出かけられなくなった時のために。

～地域ふれあい福祉ネットワーク～ 心の110番“友の会”の紹介

～若い世代が地域活動に触れるには～



児童館・イラスト
の描き方の指導
(山田中の生徒達)

代表 岩下順郎

副代表 長嶋加寿美・丹野真理子

(上野山小学校学校支援地域本部 ひめこまつ応援団・スーパーパイザー)

令和3年11月2日

キャッチフレーズ 「ボランティア」 いつもにこにこ笑顔のみかた(味方)

<紹介項目>

1. 立ち上げのきっかけについて
2. 立ち上げと準備について
3. 活動開始に向けて
4. 活動開始
5. 活動の効果
6. 今後の課題
7. 活動を動画で紹介



～山田南子供会 夏のレクリエーション～
上野山小、楽元の森で“ディキャンプ”
手伝いで参加の山田中の生徒達

1. 立ち上げのきっかけについて

☆ 3つのボランティア活動がきっかけになった。

1-1 上野山小学校 防犯巡視員 歩く110番“友の会”の見守り活動や、子供達が作成する地域安全マップの事前学習の指導等で、長年子供達と接してきた。
巡視活動も12年目、当時1年生の子供達も高校生となり地域ですくすくと成長する姿を見ているとき…

巡視中(笹川水道橋前)



ワンワンパトロール隊



1. 立ち上げのきっかけについて

1-2 社会福祉協議会の小地域福祉ネットワーク活動の一環で、地域の高齢者の方々と介護予防で元気なまちづくりを目指し、元気サロン“鉤取いきいきクラブ”を立ち上げ活動し始めて12年目、毎年夏のボランティア体験会で中学生～大学生達が、当サロンに来て手伝いや高齢者達と一緒に活動している姿を見ているとき…



1. 立ち上げのきっかけについて

- 1-3 上野山小学校の総合学習でゲストティーチャーとして地域を流れる筑川の現地探検や筑川のいきもの達の授業等で、毎年3年生を大学生達と指導している。学生達が明るく、楽しく講義し、子供達が凄く盛り上がる様子を見ているとき・・・



2. 立ち上げと準備について

2-1 立ち上げについて

☆ ボランティア活動に参加した学生・生徒達とミーティングをした。

1. 何か人の役に立つことをしたい。
2. いろいろな人と接してみたい。(世代間の交流)
3. 自分達が住んでいる地域で活動をしたい。
4. 自分に合う活動が解らない。(自分の力を生かしたい。)
5. ボランティア活動に関心はあるが、きっかけがつかめない。

☆ ボランティア活動に関心があっても、どのようにして活動を始めたら良いのか分からないという意見が多かった。

※ そこで地域の大学生・高校生・中学生・小学生が中心となり、自分たちも含め地域住民の人達とみんなで**幸福感**を分かち合える**くまちづくり**を目指し、ボランティア活動に取り組む団体
～地域ふれあい・福祉ネットワーク～
心の110番“友の会”
を平成28年4月1日に立ち上げた。



西高生和太鼓演奏支援

2. 立ち上げと準備について

2-2. 準備について

1. 当会の世話をするスタッフの選任
 発起人が代表・副代表に上野山小学校学校地域支援本部
 ひめこまつ応援団スーパーバイザー・会計に地域コーディネーター
2. 事務局
 上野山小学校1階ボランティアルームに置く
3. 会則・申込書の作成
 別途紹介します。
4. 仙台市社会福祉協議会に団体登録
 参加会員はボランティア活動保険に加入して貰います。
5. ボランティアの募集案内の作成
 別途紹介します。

児童館まつり・西高生活動



～会 則～

心の110番“友の会”会則		～会 則～	
キャッチフレーズ 「ボランティア」 いつもにここに 笑顔のみかた(味方)			
(名称)		(役員の構成)	
第1条	この会の名称は、心の110番“友の会”とします。	第5条	この会の役員は次のとおりとします。
(目的)		(1) 代表	1名
第2条	地域の繋がりが希薄化している時代、自分達が住む地域のことを知る事が難しい状況です。そこで、地域の大学生・高校生・中学生・小学生が中心となり、自分達も含め地域住民の人達がいきいきと暮らして行ける様に地域のイベント等に積極的に参加し、また、自分達で企画を練り“ふれあう”ことで、地域住民との“心と心”の糸をつなぎ皆んなで幸福感を分かち合えるくまづくり)を目的としたボランティア活動です。	(2) 副代表	数名
(会員)		(3) リーダー	各学校ごとのリーダー 数名
第3条	この会の会員は地域の大学生・高校生・中学生・小学生で、当会にボランティア登録をし、ボランティア保険に加入(有効期限は加入した日の翌日から翌年の3月31日まで)した人となります。(中学生、小学生は保護者の承諾が必要)但し、大学生は他の地域の参加も可能です。新年度より、引き続き参加する場合は、新たに参加申込書とボランティア保険の加入が必要です。 (会員はオリエンテーションを受けてから活動して貰います。)	(4) 会計	1名
(活動)		(5) 監査	1名
第4条	この会は、第2条の目的を達成するため、次の活動を行います。	(6) その他、役員が必要とする役割は代表が委嘱することができます。(顧問等)	
(1)	各学校の行事(運動会・文化祭等)の運営、進行の支援。	(役員の任期)	
(2)	地域の児童館・保育所・幼稚園の行事の支援。	第6条	役員の任期は1年とします。但し再任は妨げません。
(3)	地域の児童館・保育所の子供達が、帰宅までの時間に読み聞かせ・遊び等の支援	(会計)	
(4)	各学校の総合学習のゲストティーチャーとして支援	第7条	この会の経費は、助成金、寄付金、その他の収入を持って充てます。
(5)	地域の町内会の行事に、参加と手伝い。	第8条	事務局は上野山小学校学校地域支援本部に置き、ひめこまつ応援団のスーパーバイザー・地域コーディネーターが事務を担当します。 (仙台市太白区上野山1丁目20-1 1階ボランティアルーム)
(6)	年に2回程度の全体連絡会・研修会を開催し、会員同士の研修・交流を図ります。	附則	この会則は、平成28年4月1日から施行します。
(7)	その他、この会の目的達成に必要とされる事を行います		

～申込書～



大学生、5年生ため池調査指導



心の110番“友の会”
代表 岩下順郎 様

当会の目的と会則に賛同し入会いたします。

1. 学校名 _____
(大学生は学年と学年・小/中/高生は学年を記入して下さい。)

2. 住所 _____

3. 氏名(フリガナ) _____

4. 生年月日 昭和・平成 年 月 日 _____

5. 電話番号 _____
携帯電話番号 _____

6. 小・中学生の保護者の方
当会の入会に 同意します。(_____ 印)
(入会に賛同の保護者の方は、同意しますに口をし保護者名を記入し捺印して下さい。)

7. ボランティア保険の加入について。
・ ボランティア保険に加入して貰います。(年間300円です。)
(すでに加入している人は印刷の写しを提出)

申込み年月日 平成 年 月 日

* 取り扱いには“個人情報保護法”を遵守し厳重に注意致します。

～募集案内～



山田中学・児童館で
卓球の指導



平成 28 年 4 月
「地域でボランティアをしたい」と思っている山田中学校のみなさんへ、

中学生ボランティア募集!

心の110番“友の会”がスタートします

平成28年4月、地域に住んでいる小学生・中学生・高校生、また近くの大学に通う大学生が集まって、地域のイベントや行事のお手伝いをする会ができました。地域で様々な活動をしている岩下順郎さんが発起人となり、すでに小学生から大学生まで16名が登録しています。中学生のみなさんちでできる範囲でかまいません。中学生ボランティアとして、地域のために一緒に活動してみませんか？

この会の目的は？

ボランティア活動を通して、自分たちが住む地域のことを知り、地域とのつながりを広げていきたいと考えています。また、小学生から大学生と一緒に活動することで、交流を深めることができます。

私でもできますか・・・？

「地域でボランティアをしたい」
「子どもたちと一緒に遊んでみたい」
「誰かの役に立ちたい」・・・そんな思いがあれば、誰でも参加できます。

どんなことをするの？

- * 地域の児童館や保育所、町内会の行事のお手伝いをします。
- * 地域の児童館で、読み聞かせや遊びなどの支援をします。
- * 学校や子供会の行事のお手伝いをします。

その他、みなさんのアイデアや提案で、自分たちがやれることを考え、活動していきたいと考えています。

ボランティアの申し込み方法

地域連携担当の山田智也先生から申込書を受け取り、必要事項をご記入の上、ご提出ください。また、万が一に備えて、ボランティア保険に加入していただきます。(年間300円です)

～地域ふれあい福祉ネットワーク～

心の110番“友の会”

代表 岩下順郎

《事務局》

上野山小学校 ひめこまつ広場団

スーパーバイザー 櫻本

TEL 070-267-8042

3. 活動開始に向けて

3-1 活動前にオリエンテーションを受けて貰います。

～ボランティア活動について
学習をしよう～

仙台市立山田中学校
オリエンテーション



～地域ふれあい福祉ネットワーク～

心の110番“友の会”

代表 岩下順郎

副代表 榎本信子・大澤珠子

(上野山小学校支援地域本部 ひまわり成団長・スーパーバイザー)

平成28年8月8日



～地域ふれあい・福祉ネットワーク～	
心の110番“友の会”	
仙台西高校3年	
よしろう	
岩下 順郎	

3. 活動開始に向けて

- 3-2 ・地域の児童館・保育所・幼稚園等に訪問する前にスタッフが挨拶に行きます。
- ・訪問し活動した活動記録簿を置かせて貰い、後日活動した証明書を貰います。

～地域ふれあい福祉ネットワーク～			
平成28年度 心の110番“友の会”仙台市立上野山小学校 活動記録簿			
活動日	氏名	学校名	活動内容
8月21日	宮井 克弥	宮城大学博士課程	3年生総合学習“宮川環境”現地指導
7月14日	宮井 克弥	宮城大学博士課程	3年生総合学習“宮川の自然”学習指導
7月13日	鎌田 美咲	東北工業大学2年	3年生総合学習“宮川の環境ゲーム”学習指導
7月10日	千田 小春	東北工業大学2年	3年生総合学習“宮川の環境ゲーム”学習指導
8月7日	宮井 克弥	宮城大学博士課程	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月7日	鎌田 美咲	東北工業大学2年	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月16日	鎌田 美咲	東北工業大学2年	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月16日	千田 小春	東北工業大学2年	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月16日	宮井 克弥	宮城大学博士課程	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月16日	大橋 梓	京都大学3年	3年生総合学習“ふれあい活動”現地指導
8月28日	大橋 梓	京都大学3年	3年生総合学習“宮川環境”現地指導
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			
月 日			

平成 年 月 日
上記の会員が、参加し活動した事を証明します。
仙台市立上野山小学校 校長 堀江 孝浩

ボランティア活動証明書	
平成28年 月 日	
学校名 宮城県立 仙台西高等学校3年	
氏名 山本 蘭	
～地域ふれあい・福祉ネットワーク～	
心の110番“友の会”	
代表 岩下 順郎	
上記の会員が、別添の活動記録簿のとおり 仙台市上野山児童館で、ボランティア活動を 行ったことを証明します。	

4. 活動開始

☆ 活動を開始しました。一部を紹介します。



5. 活動の効果

5-1. スタッフ4名・大学生3名・高校生12名 中学生13名・小学生10名 計42名でスタートした。

5-2. 活動をはじめて半年ですが、地域の児童館・子供会のイベント等ボランティアの依頼が、数箇所から来るようになり当団体も少しずつ地域に、認知されてきた。

5-3 会員の活動の評価も良く、お礼の連絡がある時は会員達の頑張りが伺え、スタッフ一同喜んでいる次第。



西高生 児童館まつり支援



西高生児童館 和太鼓演奏支援

6. 今後の課題

- 6-1. 大学生の参加を増やしたいので、地域の宮城大学の学生達に声を掛けている。
- 6-2. 地域の仙台西高校の生徒の会員が全員3年生なので、校長・教頭先生にお願いして拓く集うべく募集案内を掲示して貰っているが、申込みが無いので作戦を練り直したいと思う。
- 6-3. 山田中学校では、今年から地域連携担当教諭を立ち上げて貰い、参加の呼び掛けをして貰っている。引き続きお願いして、参加生徒を増やしたい。
- 6-4. 上野山小学校は校長・教頭先生も賛同し、協力をして貰っている。5・6年生が対象なので、今後も募集をしたい。
- 6-5. 参加登録は活動保険が4月1日～翌年の3月31日までの1年間なので、新たに更新しなければならない。現在の会員の再登録を促す方法を考えたい。



7. 活動を動画で紹介



3年生荒川探検
0160621



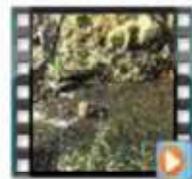
5年生池干し調査
0160916



夏ボラ体験・二輪草



夏ボラ体験ズンドコ0150819



蛙①0901115



八幡子供会安全マップ作り
0130802



八幡子供会安全マップ作製発表
0160726



発表向けショー



平穏のいおり・二輪草



荒川のひみつ工大生授業
0160707



荒川のひみつ工大生授業
0160715



荒川の授業
0160907



西高生児童館まつり支援
0161015



西高生児童館和太鼓支援
0161227

☆ご静聴ありがとうございました。☆



サンキュウ!!!

～地域ふれあい・福祉ネットワーク～

心の110番“”友の会

代表 岩下 順郎

副代表 長嶋 加寿美・丹野 真理子

(上野山小学校学校支援地域本部 ひめこまつ応援団・スーパーバイザー)

第19回 地域福祉セミナー開催要綱

1 目的

近年、少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進み、加えて経済格差の拡大も指摘されるなかにあつて、社会的な孤立、生活困窮の問題など、個人や世帯が抱える課題は多様化かつ複雑化しています。また、毎年のように多発する災害や現下の新型コロナウイルス感染症の拡大などへの備えも地域を取り巻く大きな課題のひとつとして捉える必要があります。

このような背景の中、国は地域共生社会の実現という理念を掲げ、暮らしにおける人と人のつながりを再構築し、その人らしい生活を送ることができるような社会を目指すこととしています。仙台においては、住民と行政の協働を推し進めていくため、仙台市社会福祉協議会が策定した「第5次地域福祉活動計画」と仙台市が策定した「せんだい支えあいのまち推進プラン」は、その計画期間、理念や目標を共通のものとするとともに、住民座談会や市民フォーラムを合同で開催するなど、相互に連携を図っています。

本セミナーで、それぞれの計画の周知を図るとともに、「活動目標」ごとに地域団体の活動事例を発表いただくことで、一人ひとりの住民をはじめ、町内会、民生委員児童委員、地区社会福祉協議会、老人クラブ、NPO・ボランティア団体、企業、社会福祉法人、福祉サービス事業者、行政など、様々な地域で多様な主体が連携して進める地域づくりのヒントとなれば幸いです。

2 主催 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 仙台市

3 共催 仙台市地域包括支援センター連絡協議会

4 後援(予定) 仙台市連合町内会長会、仙台市民生委員児童委員協議会、日本赤十字社宮城県支部仙台市地区本部、仙台市共同募金委員会、仙台市老人福祉施設協議会、仙台市知的障害者関係団体連絡協議会、(社福)仙台市手をつなぐ育成会、(社福)仙台市障害者福祉協会、(特活)仙台市精神保健福祉団体連絡協議会、(特活)せんだい・みやぎNPOセンター、(社福)宮城県社会福祉協議会、(一社)宮城県社会福祉士会、仙台商工会議所

5 日時 令和3年11月2日(火) 13:30~16:00

6 テーマ 「ともに生き、支えあうまち」
～誰もが互いに尊重しあい、孤立することなく、
自分らしく安心して暮らせる地域をみんなで作る～

7 会場 【会場参加】仙台市福祉プラザ 2階ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2丁目12番2号)
【オンライン参加】各参加者の自宅や職場等(インターネット環境必須)
※申込時に会場参加またはオンライン参加のどちらかを選択

8 参加対象 地区社協役員・福祉委員、民生委員児童委員、町内会関係者、地域包括支援センター職員、NPOなど *1団体から1名までの参加(会場受講のみ)

9 参加費 無料

10 定員 会場参加：125名(先着順)

11 内容(予定)

時間	内容
13:30	1 開 会
13:40	2 基調説明『住民と行政の協働による地域福祉の推進について』 ～地域福祉活動計画と支えあいのまち推進プラン～ 説明者：仙台市健康福祉局地域福祉部社会課
14:00	3 実践報告『“気づく”、“共有する”、“行動する”、“参加を推進する”～4つの活動実践～』 進行役：学校法人東北学院 常任理事 阿部 重樹 氏 第5次活動計画の4つの「活動目標」に沿った活動実践を報告いただきます。 (1)活動目標1 “身近な福祉課題に気づく力を高める” 活動事例 「相談コーナー設置により福祉ニーズを収集する取り組み」 報告者 連坊地区社会福祉協議会 (2)活動目標2 “地域の課題や良さを共有する場づくりを進める” 活動事例 「地域について話し合う福祉事業所の連携づくり」 報告者 北仙台地区ふくし事業所連絡会ふわっと (3)活動目標3 “解決のために行動する” 活動事例 「ICTを活用した認知症・介護カフェの取り組み」 報告者 国見ヶ丘地域包括支援センター (4)活動目標4 “一人ひとりの住民の参加を推進する” 活動事例 「若い世代が地域活動に参加する取り組み」 報告者 心の110番“友の会”
16:00	4 閉 会

12 申込方法

令和3年10月22日(金)までに所定の申込書に記入の上、郵送・電話・FAX・Eメールのいずれかにてお申込みください。定員の都合上、参加不可の場合のみお知らせします。

【申込後について】

(1)セミナー受講決定について

オンライン参加の場合、ZOOM ID及びパスワードをお送りします。

(2)資料について

会場参加される方には、当日会場にて資料をお渡しいたします。

オンラインにより参加される方は、資料データを下記の仙台市社会福祉協議会ホームページ上に10月28日(木)までに公開しますので、ダウンロードして必要に応じて印刷をお願いします。(※仙台市社会福祉協議会で検索) <http://www.shakyo-sendai.or.jp>

【オンライン参加の場合の動画視聴方法等について】

(1) オンライン参加の場合、動画を視聴するにあたり、インターネットに接続したパソコン等の端末が必要となりますのでご準備ください。

(2) 動画は、ZOOM でライブ配信します。

(3) 動画視聴のための ZOOMID 及びパスワードは、申込締切後に別途メールでご案内しますので、申込書に、必ずメールアドレス、連絡先をご記入ください。

【新型コロナウイルス感染症拡大によるセミナー中止等の判断および対応について】

宮城県において新型コロナウイルス感染症拡大状況により、やむを得ず中止等の判断を行うことがあります。その場合は、仙台市社会福祉協議会ホームページにて対応等を含めてお知らせします。

13 その他

ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。自家用車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

14 問合せ・申込み先

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 地域福祉係

仙台市青葉区五橋 2-12-2 仙台市福祉プラザ 6F

電話：022-223-2026 FAX：022-262-1948

Eメール：tiiki@shakyo-sendai.or.jp

HP：<http://www.shakyo-sendai.or.jp>

令和3年11月

発行 社会福祉法人仙台市社会福祉協議会